



KONICA MINOLTA

IWS Install Tool

ユーザースガイド

目次

本製品について	iv
登録商標および商標	iv

1 概要

1.1 必要なシステム環境	1-1
1.1.1 動作環境	1-1
1.1.2 主な機能	1-1
装置の自動検索	1-1
IWS アプリの登録	1-1
装置に IWS アプリをインストール	1-1
装置から IWS アプリをアンインストール	1-2

2 IWS Install Tool のインストール

2.1 インストール前の準備	2-1
2.2 インストール方法	2-1
インストールの手順	2-1
2.3 アンインストール	2-2
アンインストールの手順	2-2

3 IWS Install Tool の使い方

3.1 IWS Install Tool を起動する	3-1
3.2 IWS Install Tool を終了する	3-2
操作手順	3-2
3.3 メイン画面	3-3
3.4 装置の登録と削除	3-4
3.4.1 装置を検索して登録する	3-4
検索された装置を登録する	3-4
3.4.2 アドレスを指定して登録する	3-6
アドレスを指定して装置を登録する	3-6
3.4.3 装置の管理者パスワードを変更する	3-8
管理者パスワードを変更する	3-8
3.4.4 装置情報を削除する	3-10
登録情報を削除する	3-10



3.4.5	装置の設定を一括設定する	3-11
	Web ブラウザー設定と IWS 設定を一括設定する	3-11
3.5	装置の検索方法の設定	3-13
	装置の検索範囲を設定する	3-13
3.5.1	検索設定画面の詳細	3-15
3.6	IWS アプリとトークンの登録と削除	3-17
3.6.1	IWS アプリとトークンの登録	3-17
	IWS アプリとトークンを登録する	3-17
3.6.2	IWS アプリとトークンの削除	3-20
	IWS アプリとトークンを削除する	3-20
	削除したトークンに未有効化のライセンスが 残っていた場合	3-21
3.7	IWS アプリの管理	3-22
3.7.1	IWS アプリを装置にインストールする	3-22
	IWS アプリを装置にインストールする	3-22
3.7.2	IWS アプリを装置からアンインストールする	3-25
	IWS アプリを装置からアンインストールする	3-25

4 付録

4.1	インストール後の管理（メンテナンス）	4-1
4.1.1	IWS アプリのライセンスを追加する	4-1
	ライセンスを追加する	4-1
4.1.2	IWS アプリのトライアル状態解除	4-3
	トライアル状態解除方法	4-3
4.1.3	IWS アプリのバージョンアップ	4-4
4.1.4	IWS アプリ情報のバックアップ / リストア	4-5
	バックアップ	4-5
	リストア	4-7
4.1.5	再アクティベーション	4-9
	再アクティベーション方法	4-9
4.1.6	プロキシ設定	4-10
	プロキシの設定方法	4-10
4.1.7	SSL 証明書のインストール	4-11
	SSL 証明書をインストールする	4-11



4.2	インターネット非接続環境での操作	4-12
4.2.1	インターネット非接続環境での IWS アプリのインストール	4-12
	ステップ 1：IWS アプリと装置の選択	4-12
	ステップ 2：リクエストコードの取得	4-14
	ステップ 3：ライセンスコードの取得	4-15
	ステップ 4：IWS アプリのインストール	4-16
4.2.2	インターネット非接続環境での IWS アプリの アンインストール	4-17
	ステップ 1：IWS アプリと装置の選択	4-17
	ステップ 2：アンインストール情報の取得	4-19
	ステップ 3：ライセンスコードの削除	4-20
	ステップ 4：IWS アプリのアンインストール	4-21
4.2.3	インターネット非接続環境での再アクティベーション	4-22
	ステップ 1：装置の選択	4-22
	ステップ 2：再アクティベーション情報の取得	4-23
	ステップ 3：再アクティベーションコードの取得	4-24
	ステップ 4：再アクティベーション	4-25
4.3	自動設定（便利な機能）	4-26
4.3.1	IWS アプリ別設定	4-26
	初期起動アプリ	4-26
	初期起動モードとして設定する	4-26
	認証画面アプリ	4-27
	プリントデータ変換アプリ	4-27
	バックグラウンドアプリ	4-28
	ログイン検知アプリ	4-28
4.3.2	インストールへのショートカット機能	4-28

5 トラブルシューティング



本製品について

KONICA MINOLTA IWS Install Tool は、ご購入いただいた IWS アプリを管理するためのソフトウェアです。KONICA MINOLTA IWS Install Tool を使用すると、対象の装置に IWS アプリをインストールできます。インストールされた IWS アプリは、装置のパネルから使用できます。

登録商標および商標

商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタ株式会社の登録商標です。

Microsoft、.NET Framework および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

画面について

本書に掲載する画面は、Windows 7 の画面を使用しています。



ひとこと

装置や設定によって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Copyright © 2012 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.

1 概要

1.1 必要なシステム環境

1.1.1 動作環境

IWS Install Tool の動作環境は、以下のとおりです。

対応 OS	<ul style="list-style-type: none">・ Windows 7 Professional (32bit/64bit) (SP1 以降)・ Windows 8.1 Pro (32bit/64bit)・ Windows 10 Pro (32bit/64bit)・ Windows Server 2008 Standard (32bit/64bit)・ Windows Server 2008 Enterprise (32bit/64bit)・ Windows Server 2008 R2 Standard・ Windows Server 2008 R2 Enterprise・ Windows Server 2012 Standard・ Windows Server 2012 R2 Standard・ Windows Server 2016 Standard
ライブラリー	Microsoft .NET Framework 4.5 以上
ハードディスク	100MB 以上の空き容量が必要
ネットワーク	TCP/IP (v4/v6)、SNMP (v1/v2/v3)、HTTP (v1.0/v1.1)
システムパフォーマンス	動作 OS および、.NET Framework の推奨環境に準ずる

Service Pack などの最新情報に関しては、Readme ファイルを参照してください。

1.1.2 主な機能

装置の自動検索

ローカルエリアネットワーク内の装置を、自動で検索できます。

自動検索するための設定には、UPnP 検索、SNMP ブロードキャスト、SNMP Ping を使用できます。

IWS アプリの登録

IWS アプリを IWS Install Tool に登録して、ライセンスの管理を行います。

装置に IWS アプリをインストール

トークン番号をライセンス管理サーバーに送信してライセンスを取得し、購入した IWS アプリを利用できるようにします。

装置から IWS アプリをアンインストール

使用しなくなった IWS アプリを装置からアンインストールします。

2 IWS Install Tool のインストール

2.1 インストール前の準備

IWS Install Tool 使用して装置に IWS アプリをインストールするには、以下の設定が必要です。

- Web Connection を使用して、装置に SSL 証明書をインストールします。
- 装置の操作パネルで、IWS 設定を有効にし、装置を再起動します。
- 装置の操作パネルで、OpenAPI を設定します。
 - OpenAPI 機能の有効化
 - OpenAPI 認証の有効化とユーザ名、パスワードの設定



...
ひとこと

設定方法は、お使いの装置のユーザズガイドをごらんください。



ワンポイント

SSL 証明書のインストールと IWS の設定は、IWS Install Tool で行うこともできます。詳しくは、「SSL 証明書のインストール」(p. 4-11) と「装置の設定を一括設定する」(p. 3-11) をごらんください。

2.2 インストール方法

お使いのコンピューターに IWS Install Tool をインストールします。



...
ひとこと

インストールするときは、Windows の管理者権限で行う必要があります。

起動しているアプリケーション（ウィルスチェックプログラムを含む）がある場合は、すべて終了しておきます。

インストールの手順

- 1 インストールプログラムを起動します (Setup.exe)。
- 2 画面の指示にしたがって、インストールします。

2.3 アンインストール

IWS Install Tool を使用しなくなった場合は、コンピューターから IWS Install Tool を削除します。

アンインストールの手順

- 1 「コントロールパネル」 - 「プログラムと機能」（または「プログラムの追加と削除」）を開きます。
- 2 [KONICA MINOLTA IWS Install Tool] を選択し、[アンインストール]（または [削除]）をクリックして削除を実行します。

3 IWS Install Tool の使い方

3.1 IWS Install Tool を起動する

- 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 (または「プログラム」) - 「KONICA MINOLTA」 - 「KONICA MINOLTA IWS Install Tool」を選択すると、IWS Install Tool が起動します。



ひとこと

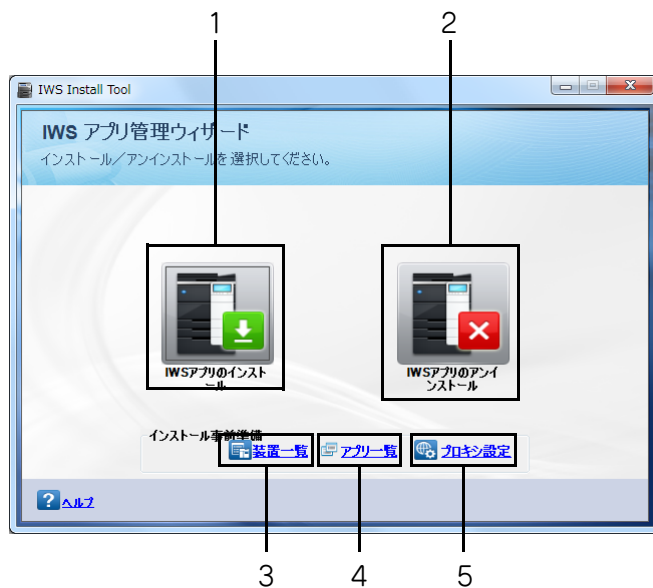
デスクトップに作成されたショートカットからも起動できます。

3.2 IWS Install Tool を終了する

操作手順

- 画面右上の「×」をクリックします。
IWS Install Tool のプログラムが終了します。

3.3 メイン画面



No.	名称	説明
1	IWS アプリのインストール	IWS Install Tool に登録済みの IWS アプリを装置にインストールします。
2	IWS アプリのアンインストール	IWS アプリを装置からアンインストールします。
3	装置一覧	装置を IWS Install Tool で管理します。
4	アプリ一覧	IWS アプリを IWS Install Tool で管理します。
5	プロキシ設定	プロキシを設定します。

3.4 装置の登録と削除

IWS Install Tool で管理する装置を登録または削除します。

一部の装置は IWS に対応していないため、登録することができません。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

3.4.1 装置を検索して登録する

設定したネットワーク範囲から装置を検索して、登録します。

検索された装置を登録する

- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



- 2 「検索」をクリックします。



装置の検索画面が表示されます。

3 「検索結果」のリストから、登録する装置にチェックを付けます。



- 検索：設定された検索範囲で装置を検索します。
- 検索設定：装置の検索範囲を設定します (p. 3-13)。
- 管理者パスワード：装置の管理者パスワードを入力します。
- デフォルトとして設定：チェックを付けると、入力した管理者パスワードが保存されます。
- OpenAPI ユーザ名：装置の OpenAPI ユーザ名を入力します。
- OpenAPI パスワード：装置の OpenAPI パスワードを入力します。

4 登録する装置の管理者パスワード、OpenAPI ユーザ名、OpenAPI パスワードを入力し、[追加] をクリックします。



ワンポイント

登録する装置の IWS 設定が無効な場合は次のダイアログが表示されます。



装置の IWS 設定を有効にするには、「装置の設定を一括設定する」(p. 3-11) をご覧ください。

3.4.2 アドレスを指定して登録する

アドレスを指定して、ネットワーク内の装置を登録します。

アドレスを指定して装置を登録する

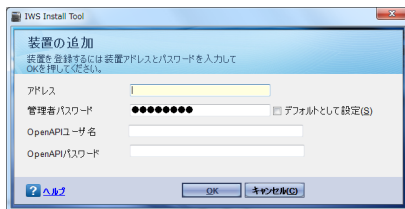
- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



- 2 「追加」をクリックします。



- 3 登録する装置のアドレス、管理者パスワード、OpenAPI ユーザ名、OpenAPI パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- デフォルトとして設定：チェックを付けると、入力した管理者パスワードを保存されます。
- 装置に接続できなかった場合は、装置は登録されません。

- 4 [OK] をクリックします。

装置への接続が成功すると、装置が登録されます。



ワンポイント

登録する装置の IWS 設定が無効な場合は次のダイアログが表示されます。



装置の IWS 設定を有効にするには、「装置の設定を一括設定する」(p. 3-11) をご覧ください。

3.4.3 装置の管理者パスワードを変更する

IWS Install Tool に登録した装置の管理者パスワードを変更します。

管理者パスワードを変更する

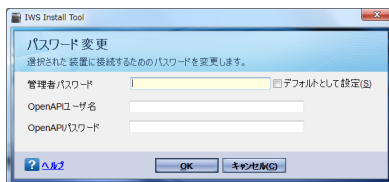
- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



- 2 編集したい装置にチェックを付け、[パスワードの変更] をクリックします。



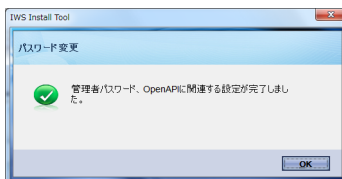
3 新しい管理者パスワードを入力します。



- デフォルトとして設定：チェックを付けると、IWS Install Tool に装置の管理者パスワードが保存されます。

4 OpenAPI ユーザー名、OpenAPI パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

5 [OK] をクリックします。 管理者パスワードが変更されます。



3.4.4 装置情報を削除する

IWS Install Tool に登録されている装置の登録情報を削除します。

登録情報を削除する

- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



- 2 削除したい装置をリストから選択し、「削除」をクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。
装置の登録情報が削除されます。

3.4.5 装置の設定を一括設定する

装置の Web ブラウザー 設定と IWS 設定を一括で設定します。



ひとこと

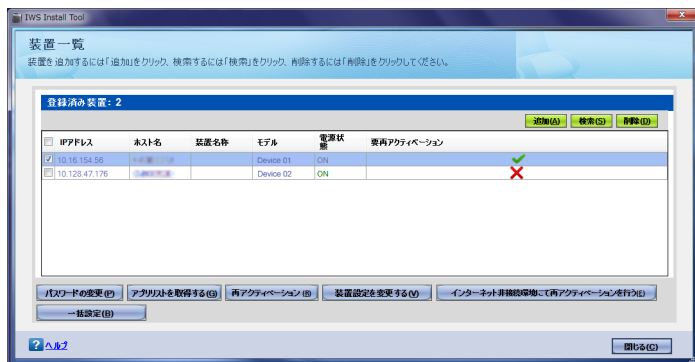
一部の装置は一括設定に対応していないため、設定することができません。

Web ブラウザー 設定と IWS 設定を一括設定する

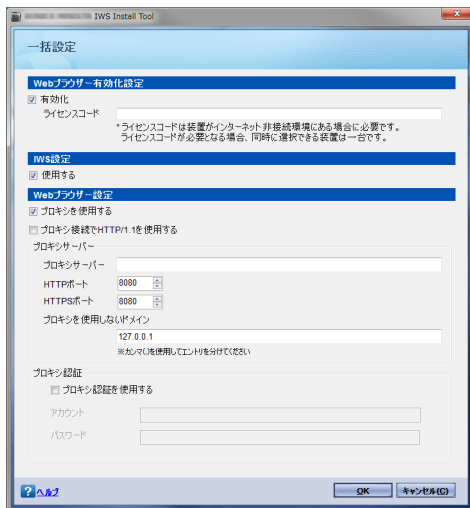
- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



- 2 一括設定する装置をリストから選択し、「一括設定」をクリックします。



3 Web ブラウザー設定と IWS 設定を設定します。



- Web ブラウザー有効化設定：装置の Web ブラウザー機能が無効化に設定されている場合は、「Web ブラウザー有効化設定」の「有効化」をチェックすることで有効化します。装置がインターネットに接続できる場合はライセンスコードの入力は不要ですが、接続できない場合はライセンスコードを入力する必要があります。
- IWS 設定：装置の IWS 設定が無効化に設定されている場合は、「IWS 設定」の「使用する」をチェックすることで有効化します。
- Web ブラウザー設定：装置の Web ブラウザーのプロキシ設定を変更する場合は、「プロキシを使用する」をチェックし、「プロキシサーバー」にプロキシサーバーの情報を入力します。また、認証が必要なプロキシサーバーの場合は、「プロキシ認証」で「プロキシ認証を使用する」をチェックし、認証情報を入力します。

4 [OK] をクリックします。

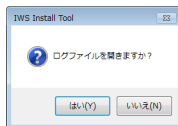
5 [OK] をクリックします。

実行結果の画面が表示されます。



6 [はい] または [いいえ] をクリックします。

- 実行結果のログファイルを確認する場合は、[はい] をクリックします。



3.5 装置の検索方法の設定

装置の検索画面で、目的の装置がリストに表示されない場合に、装置の検索方法を設定します。



ワンポイント

装置の検索画面を表示する方法は、「装置を検索して登録する」(p. 3-4) をご覧ください。

装置の検索範囲を設定する

1 装置の検索画面から、[検索設定] をクリックします。



2 検索方法を選択し、詳細を設定します。

検索設定

検索方法

☐ UPnP検索 ☒ SNMPブロードキャスト ☐ SNMP Ping

SNMP設定

SNMPバージョン: SNMPv3
ポート: 161

検索範囲

IPアドレス: 10.16.154.56
サブネットマスク: 255.255.255.0
Ping可能なIPアドレス: 10.16.154.1
Ping完了IPアドレス: 10.16.154.255

SNMP v1/v2検索設定

Community Name: public

SNMP v3検索設定

Discovery User Name: public
Context Name:

UPnP/DHCP検索設定

☒ IPv4 ☐ IPv6

TTL: 16 秒
タイムアウト: 1000 ミリ秒

IPv6の検索

☒ リンクローカル
☐ サイトローカル

ヘルプ OK キャンセル

- UPnP 検索：ネットワークに接続されているすべての装置を検索します。
- SNMP ブロードキャスト：IP アドレスを指定して、装置を検索します。
- SNMP Ping：検索範囲を設定して、装置を検索します。

3 [OK] をクリックします。

3.5.1 検索設定画面の詳細

The screenshot shows the '検索設定' (Search Settings) window of the IWS Install Tool. The window is titled 'IWS Install Tool' and has a standard Windows-style title bar with minimize, maximize, and close buttons. The main content area is divided into several sections with blue headers:

- 検索方法** (Search Method): Contains three radio buttons: 'UPnP検索' (selected), 'SNMPブロードキャスト' (selected), and 'SNMP Ping'.
- SNMP設定** (SNMP Settings): Contains a dropdown menu for 'SNMPバージョン' (SNMP Version) set to 'SNMPv3' and a text box for 'ポート' (Port) set to '161'.
- 検索範囲** (Search Range): Contains four text boxes: 'IPアドレス' (10.16.154.56), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), 'Ping開始IPアドレス' (10.16.154.1), and 'Ping完了IPアドレス' (10.16.154.255).
- SNMP v1/ v2検索設定** (SNMP v1/ v2 Search Settings): Contains a text box for 'Community Name' set to 'public'.
- SNMP v3検索設定** (SNMP v3 Search Settings): Contains two text boxes: 'Discovery User Name' set to 'public' and 'Context Name' (empty).
- UPnPの検索設定** (UPnP Search Settings): Contains two radio buttons: 'IPv4' (selected) and 'IPv6'. Below them are two spinners: 'TTL' (set to 15 seconds) and 'タイムアウト' (set to 7000 milliseconds). To the right, under 'IPv6の詳細' (IPv6 Details), there are two radio buttons: 'リンクローカル' (selected) and 'サイトローカル'.

At the bottom of the window, there is a blue button with a question mark and the text 'ヘルプ' (Help), and two standard buttons: 'OK' and 'キャンセル(C)' (Cancel).

名称	説明
検索方法	検索方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none">・ UPNP 検索：ネットワークに接続されているすべての装置を検索します。・ SNMP ブロードキャスト：IP アドレスを指定して、装置を検索します。・ SNMP Ping：検索範囲を設定して、装置を検索します。
SNMP 設定	SNMP ブロードキャストまたは SNMP Ping で検索する場合に、SNMP バージョンとポートを設定します。
検索範囲	SNMP ブロードキャストまたは SNMP Ping で検索する場合に設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ IP アドレス：SNMP ブロードキャストで検索する場合に、IP アドレスを指定します。・ サブネットマスク：SNMP ブロードキャストで検索する場合に、サブネットマスクを指定します。・ Ping 開始 IP アドレス：SNMP Ping で検索する場合に、検索を開始する IP アドレスを設定します。・ Ping 完了 IP アドレス：SNMP Ping で検索する場合に、検索を終了する IP アドレスを設定します。
SNMP v1/v2 検索設定	SNMP v1/v2 で使用する Community Name を設定します。
SNMP v3 検索設定	SNMP ブロードキャストまたは SNMP Ping で検索する場合に、Discovery User Name と Context Name を設定します。
UPnP の検索設定	UPnP 検索をする場合に、IPv4 または IPv6 を指定します。 <ul style="list-style-type: none">・ TTL：TTL の時間を設定します。・ タイムアウト：検索のタイムアウト時間を設定します。・ IPv6 の詳細：UPnP の検索設定を IPv6 にした場合に設定します。

3.6 IWS アプリとトークンの登録と削除

IWS アプリとトークンを、IWS Install Tool に登録または削除します。

3.6.1 IWS アプリとトークンの登録

IWS アプリと、トークンに記載された「トークン番号」をライセンス管理サーバーに送信して、IWS Install Tool に登録します。



ひとこと

IWS アプリのライセンス数を確認するには、ライセンス管理サーバー (LMS) にインターネットで接続されている必要があります。



ワンポイント

トライアルとして登録した場合は、IWS アプリを 30 日間使用できます。引き続き使用する場合は、トライアル状態を解除してください (p. 4-3)。

IWS アプリとトークンを登録する

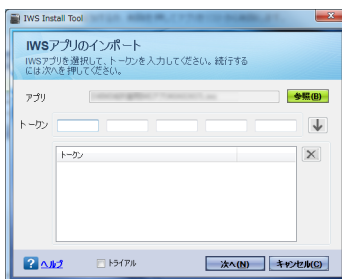
- 1 メイン画面の「アプリ一覧」をクリックします。



2 「インポート」 をクリックします。



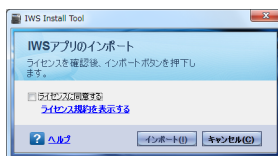
3 IWS アプリとトークン番号を入力します。



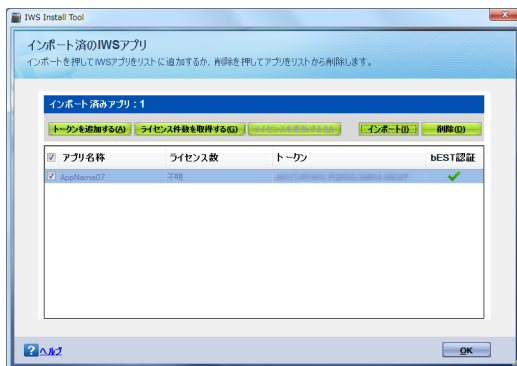
- アプリ：[参照] をクリックして、IWS アプリファイルを選択します。
- トークン：ライセンスキー証書に記載されているトークン番号を入力します。IWS アプリとトークン番号に違いがあると、登録できません。無償アプリの場合、トークン番号の入力は不要です。
- トライアル：トライアルとして使用する場合はチェックを付けます。無償アプリの場合、チェックは不要です。

4 入力した情報を確認し、[次へ] をクリックします。

- 5 「ライセンスに同意する」にチェックを付け、[インポート] をクリックします。



- 6 インポート済の IWS アプリ画面で、[ライセンス件数を取得する] をクリックします。



ライセンス管理サーバーに接続し、入力した情報を送信します。
ライセンス管理サーバーからライセンス情報の取得に成功すると、使用可能な残りのライセンス件数を確認できます。

- 7 [OK] をクリックします。
IWS アプリとトークンが IWS Install Tool に登録されます。

削除したトークンに未有効化のライセンスが残っていた場合

IWS Install Tool からトークンを削除しても、ライセンス管理サーバーにはライセンスの情報が残っています。

トークンを削除したあとでも、以下の方法で、未有効化ライセンスを使用できます。

未有効化ライセンスを使用する

- トークンを削除した IWS Install Tool で、トークンをもう一度登録する
- 別のコンピューターにインストールされた IWS Install Tool に、トークンをもう一度登録する

3.7 IWS アプリの管理

IWS Install Tool に登録した IWS アプリを、装置にインストールまたはアンインストールします。



ひとこと

IWS アプリを装置にインストールまたはアンインストールするには、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。



ワンポイント

コンピュータがインターネットに接続されていない場合は、「インターネット非接続環境での操作」(p. 4-12) をご覧ください。

3.7.1 IWS アプリを装置にインストールする

登録したトークンと装置の情報をライセンス管理サーバーに送信し、ライセンスキーを取得します。

ライセンスキーを取得したあと、装置に IWS アプリをインストールし、機能を有効にします。

1 台の装置にインストールできる IWS アプリは、最大で 50 個、または IWS アプリの合計ファイルサイズが 1GB までです。

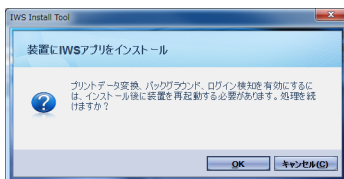
IWS アプリを装置にインストールする

- 1 メイン画面の [IWS アプリのインストール] をクリックします。



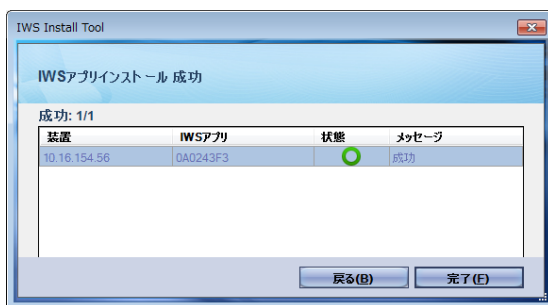
5 「インストール」をクリックします。

- 一部の装置では、インストール後に装置の再起動に関する確認のダイアログが表示されます。表示された場合は、[OK] をクリックし、処理を続行してください。



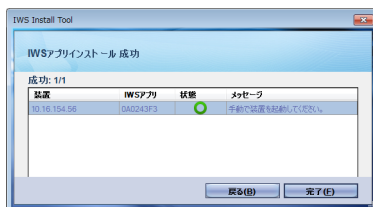
6 「完了」をクリックします。

IWS アプリが装置にインストールされます。



ひとこと

一部の装置では、「メッセージ」に「手で装置を起動してください」と表示されます。表示された場合は、装置の電源を手動で OFF/ON してください。



ひとこと

インストールされた IWS アプリは、装置の操作パネルの [APP] または [メニュー] から使用できます。

3.7.2 IWS アプリを装置からアンインストールする

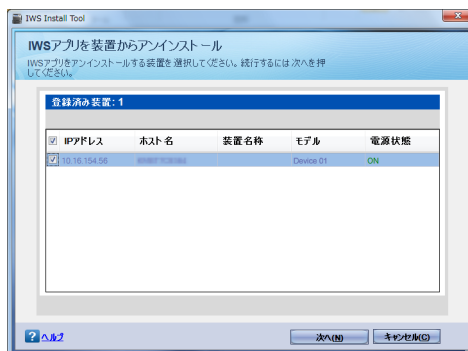
装置にインストールした IWS アプリをアンインストールします。アンインストールすると、ライセンス情報も装置から削除されます。

IWS アプリを装置からアンインストールする

- 1 メイン画面の「IWS アプリのアンインストール」をクリックします。

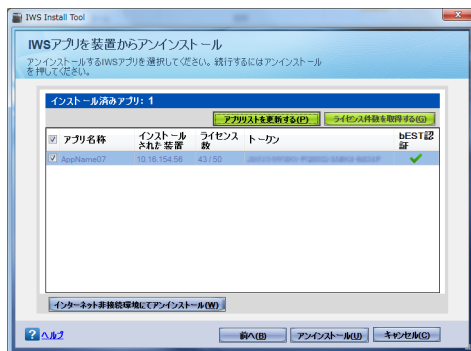


- 2 「登録済み装置」リストから、アンインストールしたい IWS アプリがインストールされている装置にチェックを付けます。

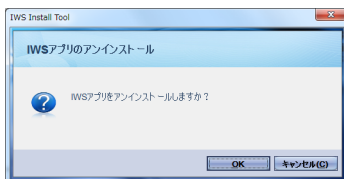


- 3 「次へ」をクリックします。

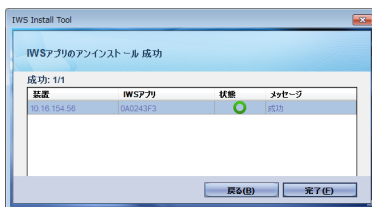
- 4 「インストール済みアプリ」リストから、アンインストールしたい IWS アプリにチェックを付けます。
- IWS アプリ情報が正しく表示されていない場合は、[アプリリストを更新する] をクリックしてください。



- 5 [アンインストール] をクリックします。
- 6 [OK] をクリックします。



- 7 [完了] をクリックします。
- 選択した IWS アプリが装置から削除されます。



4 付録

4.1 インストール後の管理（メンテナンス）

4.1.1 IWS アプリのライセンスを追加する

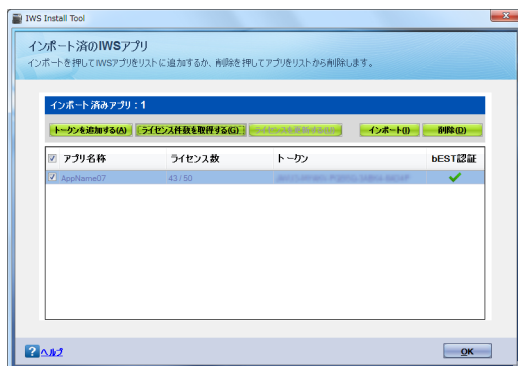
IWS Install Tool に登録した IWS アプリのライセンス件数を追加します。

ライセンスを追加する

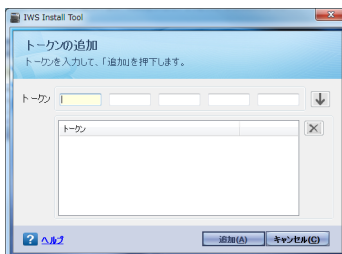
- 1 メイン画面の「アプリ一覧」をクリックします。



- 2 インポート済み IWS アプリ画面で、ライセンスを追加したい IWS アプリにチェックを付けます。



- 3 [トークンを追加する] をクリックします。
- 4 ライセンスキー証書に記載された番号を入力し、[追加] をクリックします。



4.1.2 IWS アプリのトライアル状態解除

トライアルとして登録した IWS アプリを正規版に変更します。

トライアル状態解除方法

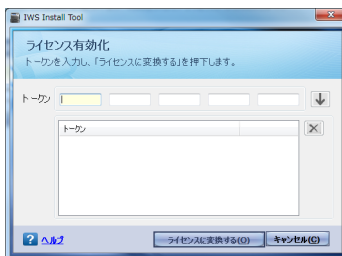
- 1 メイン画面の「アプリ一覧」をクリックします。



- 2 インポート済み IWS アプリ画面で、トライアルを解除したい IWS アプリにチェックを付け、[ライセンスを更新する] をクリックします。



- 3 トークン番号を入力し、[ライセンスに変換する] をクリックします。



4.1.3 IWS アプリのバージョンアップ

新しいバージョンの IWS アプリを IWS Install Tool に登録し、装置にインストールすると、装置内の IWS アプリがバージョンアップされます。

4.1.4 IWS アプリ情報のバックアップ / リストア

装置にインストールされている IWS アプリの設定ファイルなどの情報をバックアップ、またはリストアします。

バックアップファイルは、設定したパスワードで暗号化されます。

バックアップ

- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



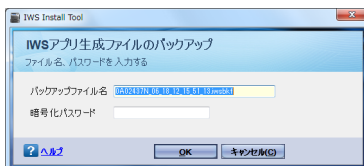
- 2 装置一覧画面で、バックアップしたい装置にチェックを付け、[アプリリストを取得する] をクリックします。



- 3 バックアップしたい IWS アプリにチェックを付け、[バックアップ]をクリックします。



- 4 バックアップファイル名と暗号化パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



ひとこと

バックアップファイルは、以下に保存されます。
C:\Program Files\KONICA MINOLTA\IWS
DeploymentTool\Backup

リストア

- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



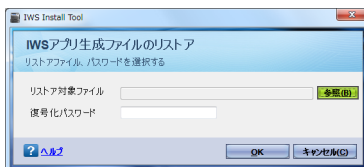
- 2 装置一覧画面で、バックアップした IWS アプリ情報をリストアしたい装置にチェックを付け、[アプリリストを取得する]をクリックします。



- 3 リストアしたい IWS アプリにチェックを付け、[リストア] をクリックします。



- 4 リストアするファイルのパスと復号化パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- リストア対象ファイル：[参照] クリックして、バックアップファイルを選択します。
 - 復号化パスワード：バックアップするときに設定したパスワードを入力します。
- 5 [OK] をクリックします。
IWS アプリ情報が装置にリストアされます。

4.1.5 再アクティベーション

装置の NIC ボードの交換などで、装置のパネルにライセンスエラーが表示されることがあります。その場合は、IWS Install Tool で装置を再アクティベーションします。

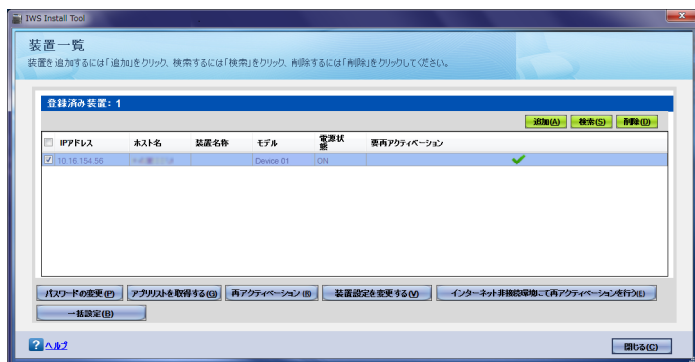


ワンポイント

コンピューターがインターネットに接続されていない場合は、「インターネット非接続環境での再アクティベーション」(p. 4-22) をご覧ください。

再アクティベーション方法

- 1 装置一覧画面から、再アクティベーションしたい装置にチェックを付けます。



- 2 「再アクティベーション」をクリックします。

4.1.6 プロキシ設定

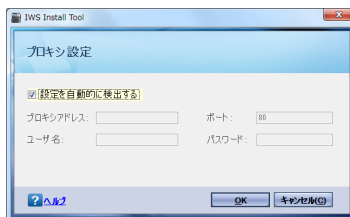
インターネットに接続するためにプロキシ設定が必要な場合は、以下の手順でプロキシを設定します。

プロキシの設定方法

- 1 メイン画面の「プロキシ設定」をクリックします。



- 2 必要に応じてプロキシを設定し、「OK」をクリックします。



- 「設定を自動的に検出する」にチェックを付けると、インターネットオプションの設定を使用して、インターネットに接続します。

- 3 「OK」をクリックします。

4.1.7 SSL 証明書のインストール

IWS Install Tool を使用して、装置に SSL 証明書をインストールします。

SSL 証明書をインストールする画面は、以下の操作で表示されます。

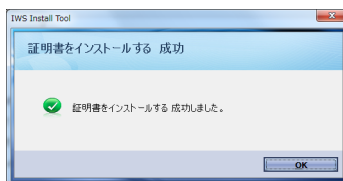
- 装置一覧画面の「装置設定を変更する」をクリックしたとき

SSL 証明書をインストールする

- 1 SSL 証明書のインストール方法を「証明書をインストールする」または「証明書をインポートする」から選び、必要な情報を入力します。



- 2 「証明書をインストールする」をクリックします。
- 3 「OK」をクリックします。



4.2 インターネット非接続環境での操作

インターネットに接続されていない環境で、装置を管理します。

4.2.1 インターネット非接続環境での IWS アプリのインストール

インターネットに接続されていない環境で、IWS アプリをインストールします。

IWS アプリを装置にインストールする前に IWS Install Tool で以下の設定が必要です。

- 「装置の登録と削除」(p. 3-4)
- 「IWS アプリとトークンの登録と削除」(p. 3-17)

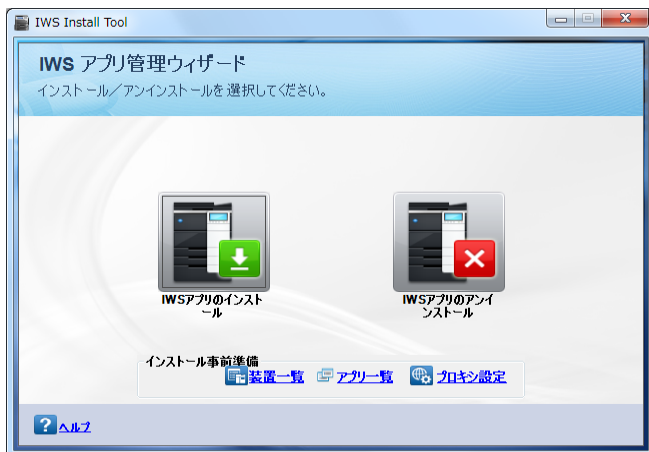


ひとこと

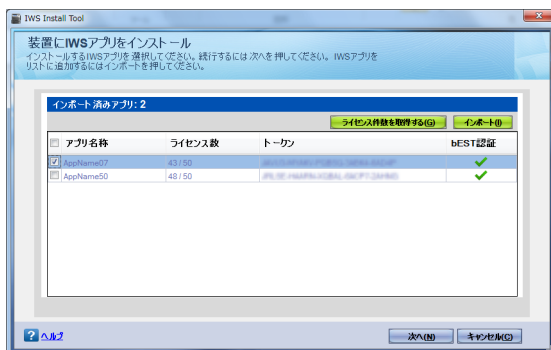
以下の操作で、1 台の装置に 1 つの IWS アプリをインストールできます。複数の装置に複数の IWS アプリをインストールしたい場合は、以下の操作を繰り返してください。

ステップ 1：IWS アプリと装置の選択

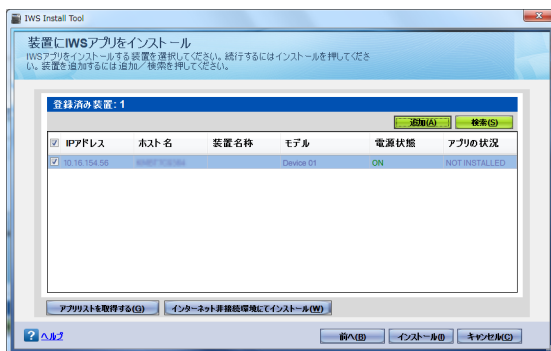
- 1 メイン画面の「IWS アプリのインストール」をクリックします。



- 2 インストールしたい IWS アプリにチェックを付け、[次へ] をクリックします。

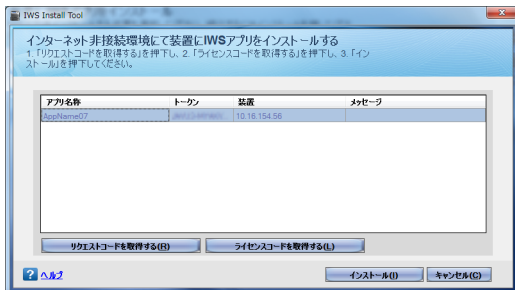


- 3 IWS アプリをインストールしたい装置にチェックを付け、[インターネット非接続環境にてインストール] をクリックします。

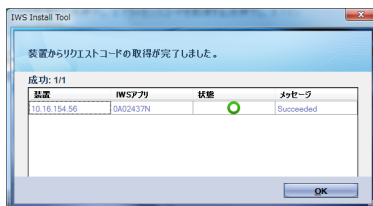


ステップ2：リクエストコードの取得

- 1 [リクエストコードを取得する] をクリックします。



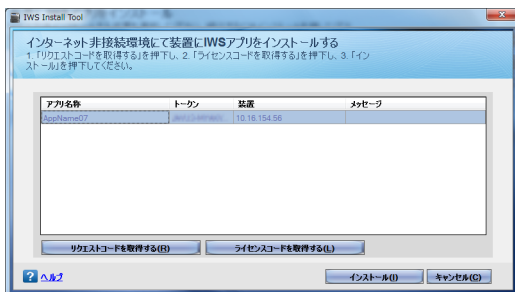
- 2 [OK] をクリックします。
リクエストコードファイルが生成されます。



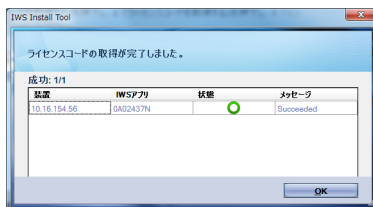
ステップ3：ライセンスコードの取得

✓ 以下の操作は、インターネットに接続された環境で行ってください。

1 「ライセンスコードを取得する」をクリックします。



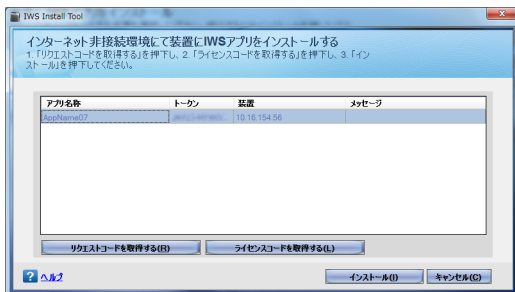
2 [OK] をクリックします。
ライセンスコードファイルが生成されます。



ステップ4：IWS アプリのインストール

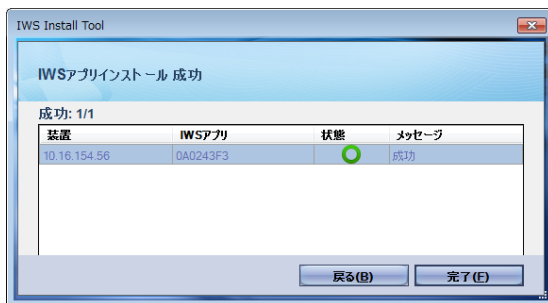
- ✓ 以下の操作は、装置と同じネットワークに接続された環境で行ってください。

1 「インストール」 をクリックします。



2 「完了」 をクリックします。

IWS アプリが装置にインストールされます。



4.2.2 インターネット非接続環境での IWS アプリのアンインストール

インターネットに接続されていない環境で、IWS アプリをアンインストールします。



ひとこと

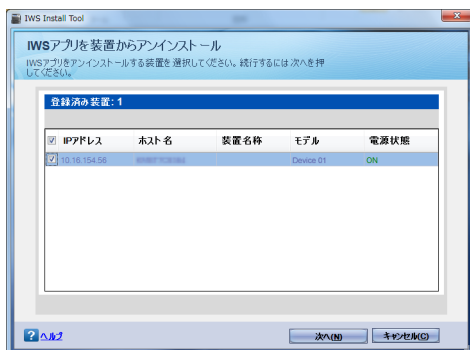
以下の操作で、1 台の装置から 1 つの IWS アプリをアンインストールできます。複数の装置から複数の IWS アプリをアンインストールしたい場合は、以下の操作を繰り返してください。

ステップ 1：IWS アプリと装置の選択

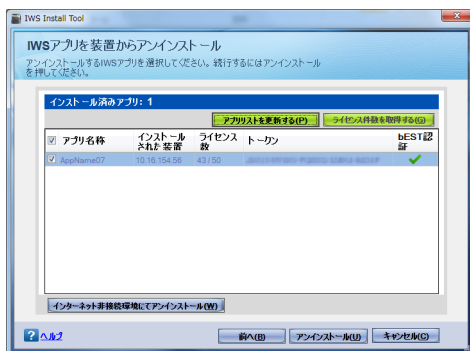
- 1 メイン画面の「IWS アプリのアンインストール」をクリックします。



- 2 アンインストールしたい装置にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

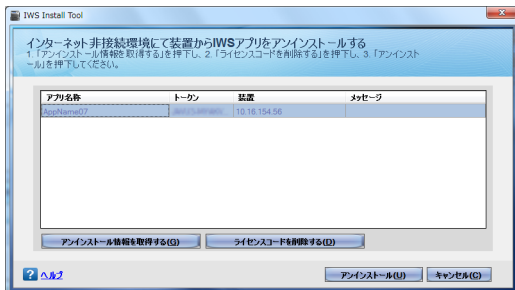


- 3 アンインストールしたい IWS アプリにチェックを付け、[インターネット非接続環境にてアンインストール] をクリックします。

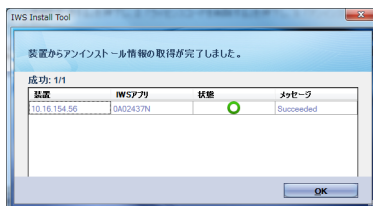


ステップ2：アンインストール情報の取得

- 1 「アンインストール情報を取得する」をクリックします。



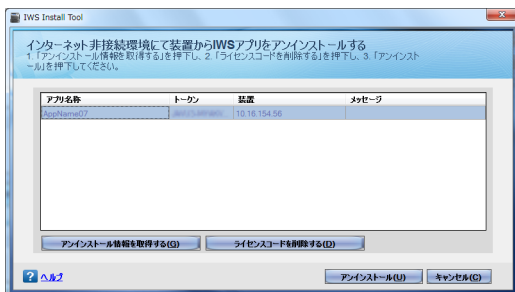
- 2 「OK」をクリックします。
アンインストール情報ファイルが生成されます。



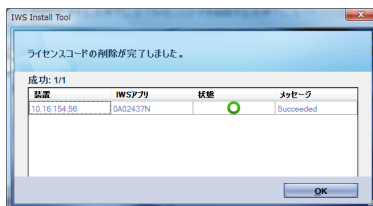
ステップ 3：ライセンスコードの削除

✓ 以下の操作は、インターネットに接続された環境で行ってください。

1 「ライセンスコードを削除する」をクリックします。



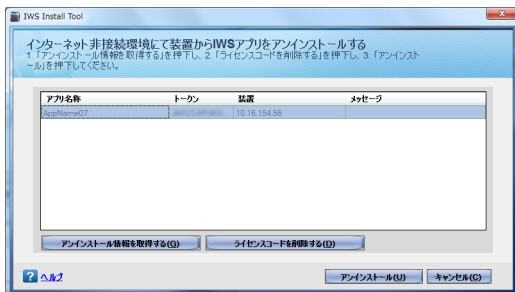
2 「OK」をクリックします。
ライセンスコードが削除されます。



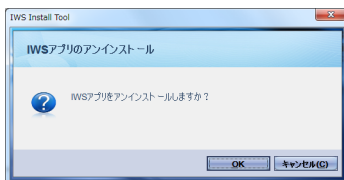
ステップ 4：IWS アプリのアンインストール

- ✓ 以下の操作は、装置と同じネットワークに接続された環境で行ってください。

1 「アンインストール」をクリックします。

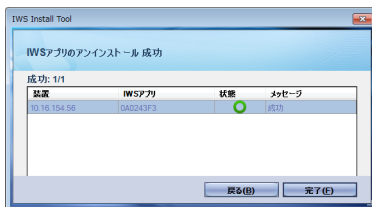


2 「OK」をクリックします。



3 「完了」をクリックします。

IWS アプリが装置からアンインストールされます。



4.2.3 インターネット非接続環境での再アクティベーション

インターネットに接続されていない環境で、装置を再アクティベーションします。



ひとこと

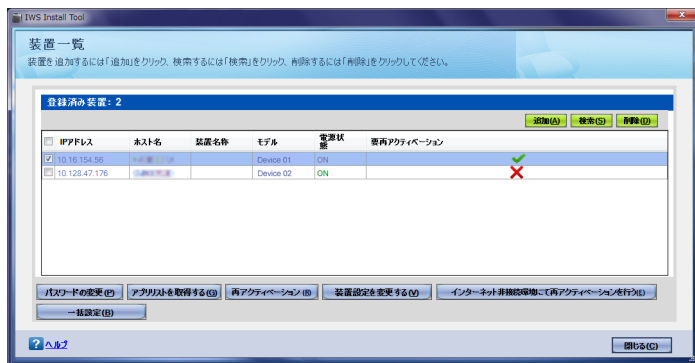
以下の操作で、1 台の装置を再アクティベーションできます。複数の装置を再アクティベーションしたい場合は、以下の操作を繰り返してください。

ステップ 1：装置の選択

- 1 メイン画面の [装置一覧] をクリックします。

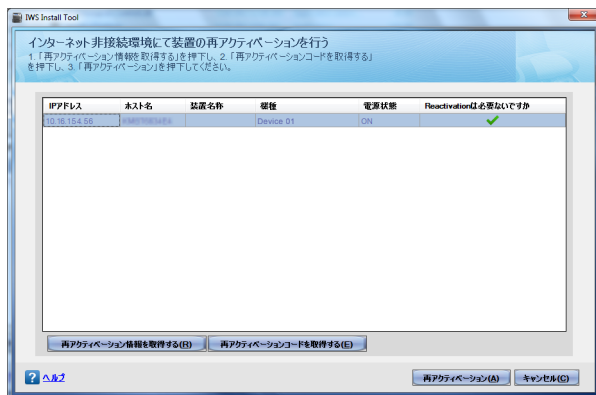


- 2 再アクティベーションしたい装置にチェックを付け、[インターネット非接続環境にて再アクティベーションを行う] をクリックします。



ステップ 2：再アクティベーション情報の取得

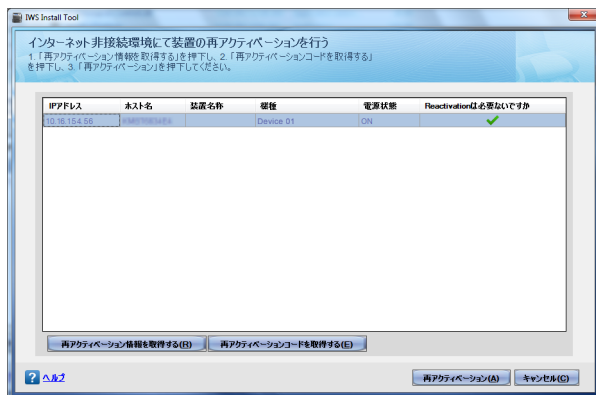
- 1 [再アクティベーション情報を取得する] をクリックします。



ステップ 3：再アクティベーションコードの取得

✓ 以下の操作は、インターネットに接続された環境で行ってください。

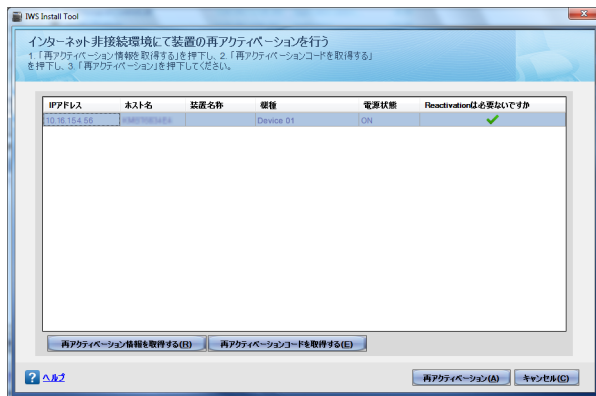
- 1 「再アクティベーションコードを取得する」をクリックします。



ステップ4：再アクティベーション

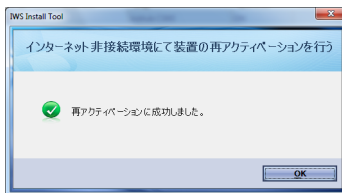
- ✓ 以下の操作は、装置と同じネットワークに接続された環境で行ってください。

1 「再アクティベーション」をクリックします。



2 「OK」をクリックします。

選択した装置が再アクティベーションされます。



4.3 自動設定（便利な機能）

4.3.1 IWS アプリ別設定

インストールする IWS アプリの種類によって、個別の設定が必要になります。

初期起動アプリ

初期起動アプリをインストールしたあと、以下の手順で初期起動モードを設定します。

初期起動モードとして設定する

- 1 メイン画面の「装置一覧」をクリックします。



- 2 初期起動モードを設定したい装置にチェックを付け、[アプリリストを取得する]をクリックします。



- 3 初期起動モードに設定したいIWSアプリにチェックを付け、[初期起動設定]をクリックします。



- 4 [OK] をクリックします。

認証画面アプリ

認証画面アプリをインストールする前に、以下の設定が必要です。

- ブラウザUI アプリを装置にインストールし、初期起動モードに設定します。
- 装置の本体認証を有効にします。

プリントデータ変換アプリ

プリントデータ変換アプリをインストールすると、プリントデータ変換機能の有効化と装置の再起動が自動で行われます。

バックグラウンドアプリ

バックグラウンドアプリをインストールすると、バックグラウンドアプリの有効化と装置の再起動が自動で行われます。

ログイン検知アプリ

ログイン検知アプリをインストールすると、ログイン検知アプリの有効化と装置の再起動が自動で行われます。

4.3.2 インストールへのショートカット機能

IWS アプリファイルをダブルクリックすると、IWS Install Tool が起動し、IWS アプリを装置にインストールする画面が表示されます。

5 トラブルシューティング

トラブル内容	原因	対策
装置を登録するときに「本 MFP にて、IWS バージョンが対応していない」とエラーメッセージが表示され、装置の登録ができない。	装置のファームウェアが IWS に対応していない可能性があります。	装置のファームウェアをアップデートしてください。 詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
IWS Install Tool をコンピューターからアンインストールしたあと、再度インストールすると、インストールした IWS アプリの情報が消えてしまう。	IWS Install Tool をアンインストールすると、設定ファイルもコンピューターから削除されます。	アンインストール前に下記をバックアップしてください。 ・ IWS アプリのファイル (ImportedApp フォルダにあります。) ・ IWS アプリのトークン
IWS アプリを装置にインストールした状態で HDD フォーマットを行ってから、違うトークンで同じ IWS アプリをインストールしようとすると、「既にインストール済のトークンとは違う、同じアプリケーションのトークンが指定されています。」というエラーが表示される。	IWS アプリは HDD 上では削除されているが、LMS 上ではフォーマット前に使用したトークンでインストールされた状態になっています。	HDD フォーマット後に IWS アプリをインストールするときは、フォーマット前に使用していたトークンを使ってください。
アンインストールまたは再アクティベーションの途中で通信エラーが発生すると、デバイスがロックされたままになる。	最初の通信でデバイスがロックされるが、レスポンスが返ってこないため、ロックされたままになっています。	10 分経過してデバイスロックが解除されてから、再度操作してください。
複数コンピューターから同じ装置に同時にアクセスできない。	装置が複数同時アクセスに対応していません。	コンピューターからのアクセスは、同時に 1 台までにしてください。
該当アプリのインストール、またはアンインストール中に装置の電源を OFF/ON すると、他のアプリのインストール、またはアンインストールができなくなる。	処理が中断されたため、他のアプリに対する処理を受け付けない状態になっています。	該当アプリのインストール、またはアンインストールを再度実行してください。



KONICA MINOLTA

<http://konicaminolta.com>